

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハートフェルト			
○保護者評価実施期間	R8年9月1日 ～ R8年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R8年9月1日 ～ R8年9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年10月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者評価で「いいえ」の回答が1件もなく、満足度に関する設問は12名全員が「はい」と回答されました。	一人ひとりに寄りそった関わりを大切にし、送迎時や提供記録・チャットを通じてこまめに状況を共有しています。保護者からは「きめ細やかに寄りそってください、安心して通所できる」とのお声をいただきました。	この水準を保てるよう、職員間の情報共有と日々の振り返りを続けてまいります。
2	現場の気づきが計画に反映される仕組みができています。	現場職員の気づきは都度、児童発達支援管理責任者へ伝えていきます。計画作成時には関わる職員全員の意見を集約して検討し、毎日、支援前に計画の進行と役割分担を確認しています。	計画の具体的な方針を話し合う機会を設け、計画と日々の支援のつながりをより明確にしていまいります。
3	子ども自身が選ぶ機会を多く設けています。	学習内容や自由時間の過ごし方を子ども自身が選べる場面を設けており、月曜日は活動そのものを選択制としています。	選択の幅を広げるとともに、選んだ理由を言葉にする場を増やし、自己決定の力を育ててまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士・きょうだいが交流する機会をつくれていません。	昨年度はオンラインでの保護者会を試行しましたが、今年度はまだ開催できていません。保護者評価でも、この設問は12名中7名が「わからない」または「どちらともいえない」と回答され、最も判断の分かれた項目となりました。	保護者の皆さまのご意向を確認したうえで開催方法を決め、年度内に一度開催いたします。きょうだい同士が交流できる機会についてもあわせて検討してまいります。
2	事業所の取組が保護者に十分伝わっていません。	各種マニュアルの整備、訓練の実施、安全計画の周知はいつでも行っていますが、これらの設問で「わからない」との回答がありました。利用の頻度が少ないご家庭ほど、情報が届きにくい傾向があります。	訓練の実施や安全計画についてはチャットでお知らせしていますが、ご覧いただく機会が限られています。節目ごとに繰り返しお伝えするなど、届き方を工夫してまいります。
3	地域の関係機関・子どもとの交流が限られています。	子ども食堂の利用や公園・プールでの活動を通じて地域の子どもと関わる機会がありますが、放課後児童クラブ等との定期的な交流には至っていません。また、児童発達支援センターが開設して間もなく、助言や研修を受ける機会も得られていません。	地域とつながる機会を活動計画の中に位置づけ、回数を増やしてまいります。児童発達支援センターへは事業内容を確認のうえ、助言や研修の機会を求めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ハートフェルト

公表日 R8年10月20日

利用児童数 R8年9月30日 15名

回収数 12名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0	家庭でなかなかできないこと、子どもの苦手なことを支援していただき、ありがたいです。	ありがたいお言葉をいただきました。引き続き、ご家庭では取り組みにくいことを支援の中で丁寧に取り組ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	0	2		子ども食堂の利用や公園・プールでの活動を通じて、地域のこどもと関わる機会を設けています。活動の様子が十分に伝わっていないと思われますので、報告の中で具体的にお伝えするとともに、交流の機会自体も増やしてまいります。
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	0	5		今年度はまだ保護者会を開催できていないため、ご判断いただきにくい結果となりました。保護者の皆さまのご意向をお聞きしたうえで開催方法を決め、きょうだい同士が交流できる機会についてもあわせて検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	2		各種マニュアルを整備し、訓練の実施状況はチャットでお知らせしています。日ごろ目にいただく機会が限られているため、今後も実施のつど、わかりやすくお伝えしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	2		避難・誘導訓練は年に複数回実施しています。実施の都度、内容を保護者の皆さまへお知らせしてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	1		安全計画はホームページに掲載し、チャットでもお知らせしています。ご覧いただく機会が限られているため、今後も節目ごとにご案内してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	2	いつもこまめにご対応・ご連絡をいただき、安心しております。	事故等をご経験のないご家庭が多かったためと思われます。万一の際は、速やかに状況のご説明と再発防止策のご報告をいたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	いつも楽しみにしております。子どもの居場所、心のよりどころになればと思います。きめ細やかに寄りそってくださり、安心して通所できることに感謝しております。	いただいたお言葉を励みに、安心して通所いただける居場所であり続けられるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R8年10月20日				
放課後等デイサービス ハートフェルト						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		行政基準に沿った活動スペースを確保し、パーテーションやアコーディオンカーテンを有効活用している。その日の状況に応じて流れや体制を変更して対応している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの状態に応じ、基準以上の職員を配置する体制を整えている。常勤職員に加え、理学療法士などの専門職も配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動内容に応じてスペースを区切り、視覚的な工夫も取り入れている。感覚過敏や安全面に配慮した備品配置・空間設計を心がけ、棚等の転倒防止も行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・換気を徹底し、活動に応じて机や椅子の配置を工夫している。職員による清掃・消毒を実施している	児童の状況や発達段階に応じた玩具等を引き続き検討していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別室や静養スペースを利用できる環境を整えている。プレイルームのほか、必要と思われる時はスタッフルームでの支援も行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議やチャットで目標設定と振り返りを行い、職員全員に周知している。定期的に情報共有の場を設けている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートを実施し、結果を業務改善に反映している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員アンケートや意見交換の場を設け、改善に活かしている。客観的な気づきを共有し、改善策の意見交換を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	保護者や外部機関の意見を業務改善に取り入れている。令和7年12月の運営指導を受けて第三者委員を選定し、ことあるごとに相談する機会を設けている	外部評価機関による第三者評価は実施していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修・法人内研修やマニュアルの整備により職員のスキルアップを図っている。通常の学童との違い等の研修により、放課後等デイサービスの役割についての認識を確認している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成・公表（HP等）し、透明性を確保している。スタッフ全員で支援プログラムを立案・共有している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを丁寧に言い、保護者と共有し計画に反映している	現場スタッフと児童発達支援管理責任者の連携を引き続き図っていく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成時には関わる職員全員からの日頃の意見等を集約して検討し、最善の利益を重視している。現場の気づきは都度児童発達支援管理責任者へ伝え、共通理解のもとで対応している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した計画を全職員に共有し、支援の一貫性を保っている。毎日、支援前に計画の進捗と役割分担を確認している	計画の具体的な方針について話し合う機会をさらに設けたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		HUGやChatworkの活用により、こどもの適応行動を確認している	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人・家族・移行・地域支援の4視点を取り入れて計画を作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動ミーティングを実施し、児童発達支援管理責任者等を中心とした職員チームで話し合いながら立案している。参加児童の特性を考慮したプログラムとしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動が固定化しないよう、季節行事や新しい取り組みを導入している。活動内容が重ならないよう調整している	日々、活動内容について模索している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団の活動をバランスよく組み合わせている。状況に合わせて活動内容や支援方法を調整している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に必ず打合せを行い、役割を明確にしている。朝礼の時間を有効に活用している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後の振り返りで気づきを共有し、改善につなげている。当日に共有する時間が取れない場合は、翌日の朝礼やミーティングで補っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の記録を徹底し、回目の支援改善に活用している。記録はスタッフ全員に共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期モニタリングにより計画を必要に応じて見直している。日常の子どもの様子を観察し、変化が見られる場合はスタッフ間でかわり方を共有している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動を組み合わせた支援を実施している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもが自己選択できる場面を設け、意思決定を尊重している。学習内容や自由時間の過ごし方を子ども自身が選べる機会を多く設け、月曜日は活動そのものを選択制としている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議には子どもの状況をよく知る職員が参加し、あるいはその意見を集約のうえ意見表明している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療・福祉・教育機関と連携体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と下校時刻や行事予定を共有し、連絡調整を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要があれば就学前の関係機関と情報共有し、支援の継続性を図ることが可能である	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		卒業時には移行先事業所へ支援内容を情報提供する体制を整備している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		児童発達支援センターが開設して間もないため、今後、連携の強化に努める
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		子ども食堂の利用等により交流の機会を設けている。公園やプール等を利用する中で、地域の子どもや他事業所の児童と関わる機会がある	地域とつながる機会をさらに増やせるよう、活動や計画を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会等には代表者が積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者と日常的に情報を伝え合い、共通理解を持つよう努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングや研修情報を提供し、家族支援を実施している	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時の重要事項説明は必ず行っている	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	計画作成時に本人や保護者の意思を確認する機会を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	計画を示しながら支援内容を説明し、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	保護者の子育て相談に応じ、必要に応じて助言や支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	昨年度はオンライン開催を試行した	今年度は保護者の意向を聞いて開催方法を検討する。きょうだい同士で交流する機会も検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情・相談の受付窓口を整備し、迅速かつ適切に対応している。第三者委員にも直接相談いただける	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	Chatwork・HUG・HPを活用し、活動や行事予定を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報適切に管理し、漏えい防止に努めている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	コミュニケーション方法を工夫し、意思疎通に配慮している	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	事業所の外窓に近隣の神社の行事案内を掲示するなど協力している	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを整備し、職員・家族に周知し、訓練も実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPを策定し、規則に対応した訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	スタッフ間で通所児童の服薬・発作等の情報共有を行っている。モニタリングの際にも毎回確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	医師の指示書に基づき、アレルギー対応を実施している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画に基づき、研修や訓練を行い、安全な支援を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全計画の内容をHPで保護者に周知し、協力を得ている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットは都度共有し、再発防止策を検討している。必要に応じて子どもたちへの声かけや注意も行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止研修を実施し、体制を整備している。定期的な研修により周知を図っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	身体拘束の方針を定め、事前に保護者へ説明・同意を得ている	